

事務事業名		乳幼児学級(三陸地区幼稚園・保育所等連携)開催事業			☐ 実施計画登載事業 ☐ 合併建設計画登載事業																														
政策体系	政策名	0:6: 豊かな心を育む人づくりの推進			事業期間	予算科目 会計 款 項 目 事業 01 10 05 04 16																													
	施策名	2:5: 生涯学習の推進																																	
	基本事業名	0:2: 市民の学習活動への支援																																	
根拠法令					☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 (開始 - 年度 ~) ☐ 期間限定複数年度 (計画期間) 年度 ~ 年度 全体計画欄の総投入量を記入																														
所 属	部課名	教育委員会事務局生涯学習課																																	
	係 名	中央公民館	電話 内線	26-3166 432																															
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述) 三陸地区内の各幼稚園、保育所、託児所を会場として開設し学習機会を提供をしている。 内容は、人間形成に最も重要な乳幼児期について、そして、人間性豊かな子育てについて学習する。 また、親子、親同士の交流を図る。 開催日は、保育参観等と併せて開催している。 主な業務 幼稚園・保育所等へ周知及び希望調査、 打ち合せ、 講師交渉、 事業実施 事業費については講師への報償費と旅費が大半を占めている。																																			
全体計画 (期間限定複数年度のみ) <table border="1"> <tr> <td rowspan="5">総投入量 (千円)</td> <td rowspan="5">事業費内訳</td> <td>国庫支出金</td> <td></td> </tr> <tr> <td>都道府県支出金</td> <td></td> </tr> <tr> <td>地方債</td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td></td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>事業費計 (A)</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">人件費</td> <td></td> <td>正規職員従事人数</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>延べ業務時間</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>人件費計 (B)</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td>トータルコスト(A) + (B)</td> <td>0</td> </tr> </table>						総投入量 (千円)	事業費内訳	国庫支出金		都道府県支出金		地方債		その他		一般財源				事業費計 (A)	0	人件費		正規職員従事人数			延べ業務時間			人件費計 (B)	0			トータルコスト(A) + (B)	0
総投入量 (千円)	事業費内訳	国庫支出金																																	
		都道府県支出金																																	
		地方債																																	
		その他																																	
		一般財源																																	
		事業費計 (A)	0																																
人件費		正規職員従事人数																																	
		延べ業務時間																																	
		人件費計 (B)	0																																
		トータルコスト(A) + (B)	0																																

1 現状把握の部 (DO)

(1) 事務事業の目的と指標									
手段(主な活動) 前年度実績(前年度に行った主な活動) 乳幼児期における読み聞かせや食事、歯みがき等をテーマにした学習会を実施。 今年度計画(今年度に計画している主な活動) 前年度同様	活動指標(事務事業の活動量を表す指標) <table border="1"> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>ア 会場数</td> <td>箇所</td> </tr> <tr> <td>イ 開催回数</td> <td>回</td> </tr> <tr> <td>ウ 参加者数</td> <td>人</td> </tr> </table>	名称	単位	ア 会場数	箇所	イ 開催回数	回	ウ 参加者数	人
名称	単位								
ア 会場数	箇所								
イ 開催回数	回								
ウ 参加者数	人								
対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等 三陸地区の幼稚園、保育所、託児所に通園している園児の保護者等	対象指標(対象の大きさを表す指標) <table border="1"> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>カ 園児数</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>キ 保護者数</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>ク</td> <td></td> </tr> </table>	名称	単位	カ 園児数	人	キ 保護者数	人	ク	
名称	単位								
カ 園児数	人								
キ 保護者数	人								
ク									
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 保護者の教育力が向上する。	成果指標(対象における意図の達成度を表す指標) <table border="1"> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>サ 参加率(参加者数 / 保護者数)</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td>シ 参加を通じて子育ての仕方を学んだと回答した保護者数</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>ス</td> <td></td> </tr> </table>	名称	単位	サ 参加率(参加者数 / 保護者数)	%	シ 参加を通じて子育ての仕方を学んだと回答した保護者数	人	ス	
名称	単位								
サ 参加率(参加者数 / 保護者数)	%								
シ 参加を通じて子育ての仕方を学んだと回答した保護者数	人								
ス									
結果(基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するのか) ・学習意欲の啓発・向上がなされている。 ・主体的な学習活動が行われている。 ・学習成果が発揮されている。									

(2) 総事業費・指標等の推移		年度	17年度(実績)	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(実績)
投入量	事業内訳	単位						
		千円						
事業費	国庫支出金	千円						
	都道府県支出金	千円						
	地方債	千円						
	その他	千円						
	一般財源	千円	180	217	127	105	63	14
	事業費計 (A)	千円	180	217	127	105	63	14
	正規職員従事人数	人	0	0	0	0	0	1
	延べ業務時間	時間	0	0	0	0	0	5
	人件費計 (B)	千円	0	0	0	0	0	20
	トータルコスト(A) + (B)	千円	180	217	127	105	63	34
活動指標	ア	箇所	8	8	8	8	8	8
	イ	回	8	8	8	8	7	5
	ウ	人	243	245	285	327	206	264
対象指標	カ	人	151	141	145	149	153	144
	キ	人	119	122	124	147	140	120
	ク							
成果指標	サ	%	204	193	111	100	96	100
	シ	人	109	87	70	91	108	100
	ス							

事務事業ID	1062	事務事業名	乳幼児学級(三陸地区幼稚園・保育所等連携)開催事業
--------	------	-------	---------------------------

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？

旧三陸町時代から実施していた事業で、子育て支援を大きなねらいとしていた。以前は「母親学級」「家庭教育学級」と称していた。

事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは後期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？

平成14年度までは「のびのび学級」という、三陸町域の乳幼児期の子どもを持ち、日中時間のある保護者を対象とした事業も行っていたが、受講者が少ないため、平成15年度から中央公民館と共催としている。

現在、三陸公民館では、三陸地区の幼稚園・保育所等と連携した学習会を実施している。

(平成23年3月11日に発生した東日本大震災に伴う津波により、三陸公民館が甚大な被害を受けたため、平成23年度から事業を中央公民館で実施することになった。)

この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？

受講者からは「勉強になった。」「すぐにも実践したい」「もっと多く行ってほしい」との声が多く、なかには、「子育てで悩んでいるのは自分だけではなかった。」などの悩みを共感することができたという声もある。

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	政策体系との整合性	☐ 見直し余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 結びついている [理由] この事務事業の目的は当市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	☐ 見直し余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 妥当である [理由] なぜこの事業を当市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	☒ 見直し余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☐ 適切である [理由] 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？
	成果の向上余地	☒ 向上余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☐ 向上余地がない [理由] 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	☐ 影響無 [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 影響有 [その内容] 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	☒ 他に手段がある (具体的な手段, 事務事業) 中央公民館の乳幼児学級 ☐ 統廃合・連携ができる [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 統廃合・連携ができない [理由] 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？
	類似事業との統廃合・連携の可能性	☒ 他に手段がある (具体的な手段, 事務事業) 中央公民館の乳幼児学級 ☐ 統廃合・連携ができる [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 統廃合・連携ができない [理由] 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	☐ 他に手段がない [理由]	☐ 他に手段がない [理由]
効率性 評価	事業費の削減余地	☐ 削減余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 削減余地がない [理由] 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	☐ 削減余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 削減余地がない [理由] 事業費のほとんどが講師謝金や旅費となっているため削減の余地がない。	☐ 削減余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 削減余地がない [理由] 事業への対応時間は、必要最低限である。
	人件費(延べ業務時間)の削減余地	☐ 削減余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 削減余地がない [理由] やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	☐ 削減余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 削減余地がない [理由] 事業への対応時間は、必要最低限である。	☐ 削減余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 削減余地がない [理由] 事業への対応時間は、必要最低限である。
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地	☐ 見直し余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 公平・公正である [理由] 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	☐ 見直し余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 公平・公正である [理由] 謝金、材料費ともに公費であり、受益者負担がないため公正・公平である。	☐ 見直し余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 公平・公正である [理由] 謝金、材料費ともに公費であり、受益者負担がないため公正・公平である。

事務事業ID	1062	事務事業名	乳幼児学級(三陸地区幼稚園・保育所等連携)開催事業
--------	------	-------	---------------------------

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 1次評価者としての評価結果 (2枚目と整合を図ること)		(2) 全体総括(振り返り、反省点) 三陸地区の乳幼児学級は独自事業であるが、左記の の見直し検討余地に関しては、中央公民館と「乳幼児学級」「家庭教育学級」にかかる協議が必要かと思われる。市内の乳幼児・家庭教育の方向性が出てくれば、適切となるのではないかと。																						
<table border="1"> <tr> <td>目的妥当性</td><td>☐ 適切</td><td>☒ 見直し余地あり</td></tr> <tr> <td>有効性</td><td>☐ 適切</td><td>☒ 見直し余地あり</td></tr> <tr> <td>効率性</td><td>☒ 適切</td><td>☐ 見直し余地あり</td></tr> <tr> <td>公平性</td><td>☒ 適切</td><td>☐ 見直し余地あり</td></tr> </table>	目的妥当性	☐ 適切	☒ 見直し余地あり	有効性	☐ 適切	☒ 見直し余地あり	効率性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	公平性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり												
目的妥当性	☐ 適切	☒ 見直し余地あり																						
有効性	☐ 適切	☒ 見直し余地あり																						
効率性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																						
公平性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																						
(3) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は重複不可) ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 目的再設定 ☐ 事業統合・連携 ☒ 現状維持 事業のやり方改善 (☒ 有効性改善 ☐ 効率性改善 ☐ 公平性改善) (上記方向性に対する具体的な内容) 講座の充実については、開催場所となる幼稚園・保育園、こども園、保護者がどんなことを学習したいのか把握することが大きな鍵となる。アンケート調査等を実施しながら保護者の願いや抱えている課題にあった講座をしたい。		(4) 改革・改善による期待成果 左記(3)の改革改善案を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要)																						
		<table border="1"> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>●</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上		●		維持			×	低下		×	×
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上		●																					
	維持			×																				
	低下		×	×																				
(5) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等 特になし																								

2次評価者	(職 名) 原則として施策の主管課長 生涯学習課長
-------	------------------------------

4 事務事業の2次評価結果

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合 記述水準(1次評価の記述内容を読んだ段階で選択) ☐ 記述不足でわかりにくい ☒ 一部記述不足のところがある ☐ 記述は十分なされている 評価の客観性水準(2次評価を行った後に総合的に判断して選択) ☒ 客観性を欠いており評価が偏っている(事務事業の問題点、課題が認識されてない) ☐ 一部に客観性を欠いたところがある ☐ 客観的な評価となっている(事務事業の問題点、課題が認識されている)		(2) 2次評価者としての評価結果		(3) 評価結果の根拠と理由 三陸地区の地域事情に合わせた事務事業として、適切な執行がなされている。																						
<table border="1"> <tr> <td>目的妥当性</td><td>☒ 適切</td><td>☐ 見直し余地あり</td></tr> <tr> <td>有効性</td><td>☒ 適切</td><td>☐ 見直し余地あり</td></tr> <tr> <td>効率性</td><td>☒ 適切</td><td>☐ 見直し余地あり</td></tr> <tr> <td>公平性</td><td>☒ 適切</td><td>☐ 見直し余地あり</td></tr> </table>	目的妥当性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	有効性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	効率性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	公平性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり														
目的妥当性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																								
有効性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																								
効率性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																								
公平性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																								
(4) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は重複不可) ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 目的再設定 ☐ 事業統合・連携 ☒ 現状維持 事業のやり方改善 (☐ 有効性改善 ☐ 効率性改善 ☐ 公平性改善) (上記方向性に対する具体的な内容) 現状どおり継続して事務事業を実施する。		(5) 改革・改善による期待成果 左記(4)により期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。また、1次評価と内容が異なる場合には、1次評価の結果も「○」で記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要)																								
		<table border="1"> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>						コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○		維持		●	×	低下		×	×
		コスト																								
		削減	維持	増加																						
成果	向上		○																							
	維持		●	×																						
	低下		×	×																						

5 最終評価結果

(1) 行政経営推進会議等での指摘事項